

2019年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
 (JASDAQ・コード番号 6840)
 問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
 (TEL. 03-3541-5068)

2020年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年9月19日に公表しました2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2020年3月期第2四半期 連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異
 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,200	百万円 180	百万円 180	百万円 380	円 銭 413.63
今回実績 (B)	5,381	263	256	478	521.32
増減額 (B - A)	181	83	76	98	
増減率 (%)	3.5	46.5	42.4	26.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	4,721	△2	△1	△38	△42.04

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。
 これに伴い、2018年3月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

差異の理由

第2四半期においては、メモリ製品製造販売セグメントにおいて原価率の低減により利益率が大きく改善したこと、HPCセグメントにおいて売上、利益とも想定以上に伸びたこと、及び通信コンサルティングセグメントにおける各事業も堅調に推移したことから、各段階利益において業績予想を上回る結果となりました。

なお、通信キャリア向け通信建設工事の規模が大幅に拡大しており、9月19日付で売却した株式会社モバイル・プランニングの収益の減少は、十分吸収できるものの、他方で、海外経済においては、日韓貿易問題、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題等により、景気の先行きに不透明感が強いことから、通期業績予想につきましては、現時点では、従来発表予想を据え置くことといたしました。

以 上